

自然を感じ 守る大切さを知る

環境観光大使の野口健さんを講師に迎え、地域で環境を勉強していこうと創設した「野口健環境学校」。7回目を迎えた今回は、神在小学校の児童が、ごみの回収や講演などから環境について学びました。

問い合わせ 環境課美化推進係 (☎083338)

環境観光大使でアルピニストの野口健さんが講師を務める環境学校を11月10日、神在小学校周辺を会場に開催しました。

野口さんは、同小の6年生33人と新本川周辺を清掃。不法投棄されていたテレビや缶などを熱心に回収しました。西下輪人さん(同



不法投棄されたごみを懸命に拾い集める野口さんと神在小学校の児童ら



神在小学校で行われた講演。参加者は野口さんの話しに聞き入っていた

小6年)は、「たくさんごみがあつてびっくりした。今後ごみを見つけたら拾い、まちをきれいにしたい」と話しました。その後、下原自治会の会員らと伊与部山に登りました。

神在小学校の体育館で行われた講演会には、同小の5、6年生や地域住民、市ごみ減量化作戦連合協議会の会員など約330人が参加しました。4月に発生したネパール大震災の際、ヒマラヤ登山中だった野口さんは、「まず自分は何ができるのかを考えた」と話し、地震発生時の様子や自身の活動内容を紹介。15年間続いている富士山の清掃活動の様子や、世界の山々を登頂した経験も話し、「さまざまな現場を見ることが

国境を越えた支援

問い合わせ 危機管理室 (☎08599)



野口さんに募金箱を手渡す市長(写真上)。被災地の様子を記録した恐ろしさや改めて感じる(写真右)

ネパールは、4月に発生したマグニチュード7.8の強い地震により甚大な被害を受けました。地震発生時、ヒマラヤ登山中だった環境観光大使の野口健さんから市へ協力要請がありました。このことを受け、市では市内各所で募金活動を行い、総額53万8134円(11月9日現在)の募金が集まりました。

募金のお礼

多くの方に募金にご協力いただき、誠にありがとうございました。引き続きネパール募金へのご協力をよろしくお願いいたします。

させていただきまます」と感謝のことばを述べました。募金は家屋や寺院の再建に使われます。また、市役所1階ロビーでは、11月10日から27日まで、野口さんが記録したネパール大震災の写真展を開催。訪れた人は、震災の恐ろしさを改めて感じ、引き続き支援を続けることの大切さを再確認していました。

ネパールの復興を願う



公共交通

吉備線LRT化実現へ前進

問い合わせ 交通政策課 (☎08249)

大森岡山市長と会談。重要性を再確認

10月19日、岡山市の大森雅夫市長と片岡市長が岡山市役所で会談。両市とJR西日本の3者で協議を進めている、吉備線のLRT化

について、重要性を再確認し、実現に向け引き続き検討を進めていくことが話し合われました。

大森岡山市長は、「10年後、20年後の市民に喜ばれるように、引き続き検討を進める」と、片岡市長は、「高齢者の利便性の確保や吉備線沿線の開発などのためにも、吉備線のLRT化は必要なこと。前向きな協議をスピード感をもって進めていく」と述べました。

若者の目線から市政に提言 高校生議員を任命

問い合わせ こども課子育て支援係 (☎08268)



任命書を受け取り、気持ちを新たにした高校生議員ら

新たに有権者となる若者の視点で市政に対する要望や意見を出してもらおうと、総社高校と総社南高校の1、2年生12人を高校生議会の議員に任命しました。

11月6日、議場で任命式が行われ、市長から高校生議員一人ひとりに任命書が手渡されました。市長は、「素晴らしい提案があれば実現させていきます。精一杯がんばってください」と生徒を激励。総社高校2年の東田智也さんは、「高校生らしい発想で総社市をより良いまちにしたいです」と抱負を述べました。

任命式終了後、高校生議員らは総社の市政や議会の仕組みなどを市長や市職員から学びました。今後、市に対する問題点や課題などについて学習します。

高校生議会は今回で2回目。平成28年1月19日に開催されます。本議会同様に一般質問の形式で行われる予定です。



吉備線LRT化実現のため、大森岡山市長と会談する片岡市長(写真上)。LRT化が検討されているJR吉備線(写真左)